

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	1	1	1	1
決算(予算)額	1,338	1,446	1,440	2,910
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	669	723	720	1,455
その他	0	0	0	0
一般財源	669	723	720	1,455
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	町会、NPO等の地域団体等と連携して実施するイベント事業等に対し助成を行うことで、商店街を含めた地域の活性化につながった。
課題	連携する地域団体等と実行委員会等を結成して実施する必要があるが、文化、歴史などの地域資源の活用、資源リサイクル、地域福祉、防犯防災など商店街の販売促進以外の目的・内容が求められることから、実施する商店会が限られている。
今後の方向性	本補助制度の趣旨は、商店街が地域と共に新たな展開を図るためイベント等を企画検討することであることを、説明会等を通じて十分に周知することで、補助制度の活用を促していく。